

連携

第64号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

循環器内科紹介

循環器内科部長 矢作浩一



2017年4月より、栗原中央病院に循環器内科が開設され、循環器内科部長を任されました矢作浩一（やはぎひろかず）と申します。県立循環器呼吸器病センター移管を平成31年に控え、引き継ぐ形で循環器診療をしております。

現在、3人の循環器内科の医師（平本哲也、矢作、尾形剛）と2人の東北大学病院循環器内科からの応援医師で診療を行っております。月曜日から木曜日は2人の医師で、金曜日は1人の医師で外来診療（新患、再来）をしております、木曜日午後からペースメーカー外来診療をしております。入院診療は常勤医師2人（矢作、尾形）で行っております。

栗原市、登米市の循環器診療は、今まで大崎市民病院（自分は約11年在籍）や石巻日赤病院、磐井病院に搬送されることが多かったと思います。しかし、当科が開設され、急性心筋梗塞や致死性不整脈をはじめ、急性期の循環器救急診療を始めております。特に急性心筋梗塞をはじめとした冠動脈疾患のカテーテル治療、徐脈に対するペースメーカー治療は24時間救急体制をひいており、救命するためにコメディカルとチームを組んで対応しております。

地域医療連携

なにより大事なことは「地域医療連携」と考えております。栗原市と登米市の地域医療を支えて頂いている、かかりつけ医の先生方と「face to face」の診療連携を築いていきたいと思っております。現在、地域医療連携室を通じて、栗原市、登米市の先生方のところに積極的に訪問させて頂いております。

24時間体制で循環器内科専用携帯を循環器内科医師が持っており、開業医、診療所、病院の先生方、救急隊の方からの連絡にすぐ対応できるようにしております。是非活用して頂ければと思います。御紹介頂いた患者様は、循環器疾患を含めた全身状態が安定した際に、かかりつけの先生方に外来診療をお願いすることとしますので何卒よろしくお願い申し上げます。



栗原市北部の循環器治療

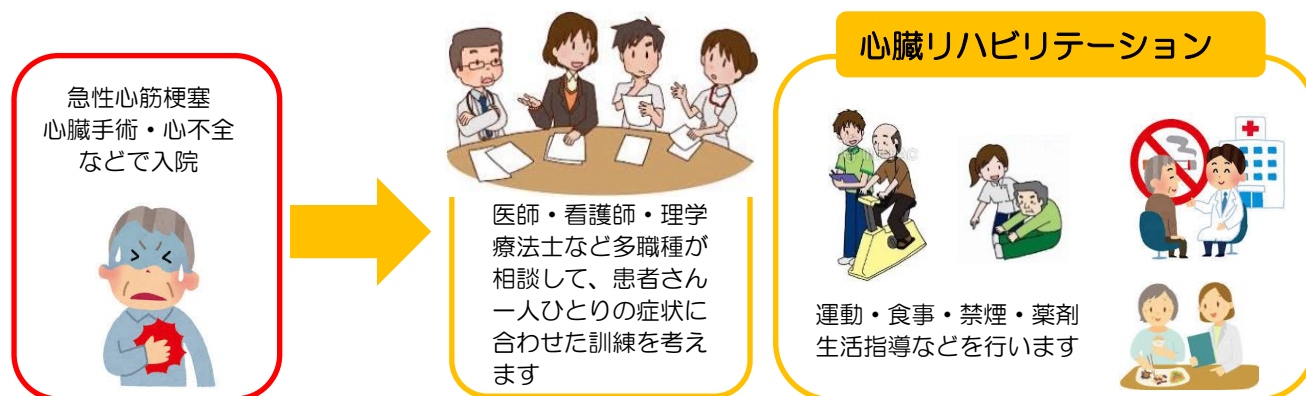
そして、県立循環器呼吸器病センター循環器内科に通院していた患者様、今まで磐井病院循環器科を受診していた栗原市北部の患者様は当科を受診して頂ければと思います。また、登米市と栗原市とは「みやぎ北部高速幹線道路」の工事が進んでおり、栗原中央病院までの時間が非常に短縮されています。登米市の市民の方々の循環器診療も全力でやっていきたいと考えております。



心臓・大血管リハビリテーション

もう1点、「心臓・大血管リハビリテーション」を立ち上げました。このリハビリは生命予後に関連しており、リハビリをすればする程、長生きができるデータが出ております。心臓リハビリテーション学会に「心臓リハビリテーション指導士の在籍している病院」として登録している病院は、県北では大崎市民病院と県立循環器呼吸器病センターだけでした。当院にも心臓リハビリテーション指導士が在籍しており、県立循環器呼吸器病センターに代わって心臓リハビリ診療も引き継いでいきたいと考えております。

入院では、点滴治療などの急性期診療が終わって早期に心臓リハビリを開始し、退院までの間を「循環器病棟」から「地域包括ケア病棟」に移りながら、身体能力に応じた「回復・改善」ができればと考えております。退院後は、慢性心不全を中心に必要な患者様は約6か月間、外来にてリハビリを継続していきたいと考えております。



最後に、循環器内科開設のため、血管撮影装置、超音波装置、生理検査装置、自動心臓マッサージ器、経皮的人工心肺装置、大動脈内バルーンパンピング装置、外来診療のモニターなどの設備を整えて頂きました。また、心臓リハビリ開設のため、運動負荷心電計、呼気ガス代謝モニター、エルゴメータなどの装置を整えて頂きました。



×線血管撮影装置
Allura Xper FD20/10



心肺運動負荷試験
Cardio Pulmonary Exercise test:CPX

栗原市に感謝すると共に、循環器診療において市民に安心して頂けるようにがんばっていききたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

☆第1回院内感染対策研修会

日時：平成29年8月21日（月）

講師：感染管理室 副室長 感染管理認定看護師 上野賀子 先生

演題：『研修を終えての学び』

概要：追加講義を9月4日に3回実施し、計4回の講義に212名の職員の参加をいただきました。院内感染対策研修会は院内の全職員が感染対策についての知識を得て病院全体で感染対策に取り組んでいくことを目的としており、全職員の参加が診療報酬の感染対策加算の要件となっております。

そのため参加されなかった職員には伝達講義を受けていただき小テストを実施する事で大切なポイントを理解していただきました。

今後の研修会でも是非多数の皆様のご参加と小テストの提出をお願いいたします。

感染管理室 副室長 感染管理認定看護師 上野賀子



☆医療安全研修会

日時：平成29年9月1日（金）

講師：東北医科薬科大学 准教授 医療安全管理室長 手塚則明 先生

演題：『医療安全の基礎—確認すること—』

概要：講師の先生に多くのスライドを用意して頂き、確認の重要性、正しいダブルチェックの仕方など具体的な事例をあげながらのご講演で、参加者からも「わかりやすかった。」「明確で良好なコミュニケーションの必要性、確認することの重要性について学ぶことができた」などの感想が聞かれました。

院外からも多くの参加を頂き、大変有意義な実りある研修会になったと評価しています。研修会での学びを個人個人が活かせるよう医療安全管理室としてサポートするとともに、安全文化の醸成に努めていきたいと強く感じました。

医療安全管理室 副室長 リスクマネージャー 阿部明美



学会・研修会・論文発表

☆糖尿病 第60巻 第8号 2017.8.30発行 P.540-P.547

『75歳以上の高齢2型糖尿病患者におけるリナグリプチンの効果と肝腎機能、脂質代謝への影響—75歳未満患者との比較及び腎機能低下例での検討—』

…木田真美, 吉越仁美, 小西秀知, 内海さやか, 佐藤修一, 小泉 勝

☆第211回日本内科学会東北地方会 2017.6.17 — 仙台市 —

『腹痛を契機に発見された未治療2型糖尿病劇的改善の1例』

…○小西秀知, 毛塚 大, 永友宏史, 吉越仁美, 木田真美, 佐藤修一, 平本哲也

☆第45回日本磁気共鳴医学会大会 2017.9.14-16 — 宇都宮市 —

『Coil dependence of MTF measurement using single thin-plate phantom in MRI』

『単純ファントムを用いたMTF計測におけるコイル依存性の検討』

…吉田 礼 Rei Yoshida, Wataru Kawamata, Yoshio Machida

☆日本超音波医学会第54回東北地方会 2017.9.10 — 福島市 —

『ほぼ同時期に超音波とCT検査を施行した門脈ガスの2例』

…高橋あゆみ

☆ 平成29年6月26日付けで、阿部淑子副院長兼看護部長が、認定看護管理者に認定されました。

☆ 平成29年7月9日付けで、上野賀子感染管理室副室長が、感染管理認定看護師に認定されました。





☆ 診療状況報告（上半期） ☆



◎救急医療状況 ()内及び時間内患者数は救急車搬入数

(単位:人)

区 分	外 来		入 院		時間外計	時間内計	救急車搬入計
	時間外	時間内	時間外	時間内			
4月	272 (54)	17	75 (44)	28	347 (98)	45	143
5月	287 (62)	18	87 (51)	31	374 (113)	49	162
6月	268 (53)	19	72 (41)	35	340 (94)	54	148
7月	378 (66)	17	75 (39)	39	453 (105)	56	161
8月	326 (56)	16	85 (49)	30	411 (105)	46	151
9月	283 (54)	23	75 (42)	29	358 (96)	52	148

◎内視鏡検査等状況

(単位:人)

	上部消化管				下部消化管		ERCP 関連	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクト ミー他		
4月	177	7	0	3	42	16	11	256
5月	197	12	0	5	52	13	11	290
6月	231	17	4	3	105	23	22	405
7月	215	19	5	4	108	25	21	397
8月	159	11	1	5	103	31	16	326
9月	223	7	2	1	114	22	19	388

◎手術実施状況

(単位:人)

区 分	全身麻酔					腰椎麻酔					局所麻酔							合計
	外	泌	皮	整	計	外	泌	皮	整	計	外	泌	眼	皮	内	整	計	
4月	16	0	0	11	27	2	0	0	8	10	0	0	21	0	0	2	23	60
5月	15	0	0	16	31	0	0	0	15	15	3	0	18	0	0	4	25	71
6月	19	0	0	11	30	0	0	0	6	6	6	0	25	0	0	10	41	77
7月	13	0	0	10	23	1	0	0	11	12	1	0	23	1	0	3	28	63
8月	19	0	0	14	33	1	0	0	10	11	2	0	23	0	0	3	28	72
9月	15	0	0	11	26	0	0	0	4	4	1	0	22	0	0	5	28	58

◎心臓カテーテル等実施状況

(単位:人)

区 分	心臓カテーテル検査			冠動脈カテーテル手術 (心臓カテ再掲)			ペース メーカー 移植術	ペース メーカー 交換術	下肢動脈 カテーテル 手術	補助循環装置 (IABP,PCPS)	合計
	予定	緊急	計	予定	緊急	計					
4月	8	5	13	3	3	6	1	0	0	1	14
5月	21	3	24	8	3	11	2	0	0	2	26
6月	19	9	28	4	6	10	9	1	2	1	40
7月	23	6	29	6	4	10	3	1	1	1	34
8月	4	5	9	1	4	5	4	2	1	0	16
9月	21	5	26	5	4	9	1	0	1	1	28



- 編集後記 -

インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行してくる時期になりました。こまめに手洗いをして感染予防に努めましょう。

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1
栗原市立栗原中央病院(代表) TEL: 0228-21-5330 FAX: 0228-21-5350
<http://www.kurihara-central-hp.jp/>
地域医療連携室(直通) TEL: 0228-21-5335 FAX: 0228-21-5336